

命について考えた夏を乗り越え、教育活動のさらなる充実をめざす

昨年同様、記録的な猛暑でしたが、保護者の皆様はいかがお過ごしだったでしょうか？

毎日のように熱中症警戒アラートが出され、屋外での活動に対しては命を守ることを最優先に考えなければならぬほどの猛暑でした。また、8/12は乗員乗客520人が亡くなった日航機墜落から40年、8/15は太平洋戦争が終了して80年という大きな節目の年でもありました。さらに、個人的な話をすると、8/6～10に訪れた能登では、8/7の大雨で金沢市の一部地域が冠水や浸水したり、帰宅後の8/12に、ボランティアの移動で使用している七尾市の国道が30mに渡り陥没したりするという被害がありました。居た場所や時間がずれていただけで、1つ違えば命に関わる状況でした。暑さや自然災害、過去の出来事等を通して、自分の命をいかにして守るかについて考えることが本当に多かった夏休みだったように思います。

下に、1学期末に保護者の皆様にご協力をいただいたアンケートの結果を報告します。問1)安心して登校と問11)情報提供に対して、100%近い肯定率と半数程度の「できている」評価をいただきました。問3)授業内容を「理解できている」の肯定率が4%向上しました。問4)家庭学習の習慣の肯定率は向上しましたが、「定着できている」の評価が10%以下であることを真摯に受け止めたいと思います。問6)子どもを理解した上での指導、問8)トラブルへの適切な指導、問10)教職員の組織的な取り組みの肯定率が低下し続けていること、さらには問9)ボランティア活動への参加の肯定率が10%以上低下していることも真摯に受け止めたいと思います。この結果については教職員全員で共有し、これまでの取り組みを検証するための貴重な資料とさせていただき、2学期からの改善に向けた取り組みを確認したところです。詳しくはホームページに掲載していますので、ご覧ください。

【回答】A：そう思う、B：どちらかと言えばそう思う、C：どちらかと言えばそう思わない、D：そう思わない→以下に示す数値はA+Bの割合を%で表しています。

	質 問	7年7月	6年7月
1	お子様は安心して登校できている。	96.7◎	95.6
2	お子様は授業を楽しく受けることができている。	84.3	87.6
3	お子様は授業の内容を理解できている。	67.4↑	64.6
4	お子様は家庭学習の習慣が身に付いている。	54.0↑	51.3
5	お子様は自分の意見や考えを言う力をつけていると思う。	67.4	61.7
6	先生はお子様のことを理解した上で指導してくれている。	84.3↓	89.4
7	お子様は困りごとや不安があるときに、周りの大人に相談できている。	79.7	78.8
8	先生は生徒の間でトラブルが起こったときなどは適切に指導してくれる。	85.4↓	89.4
9	お子様はボランティア活動に積極的に参加している。	52.8↓	65.5
10	学校では教職員が協力して組織的な体制で取り組んでいると思う。	86.5↓	90.3
11	メール配信や各種通信の発行頻度、学校開放日は現状のままでよいと思う。	96.7◎	96.5
12	学校は保護者や地域と連携した教育活動ができていると思う。	89.9	89.4

確かな学力

◇ 2学期以降の研究方針について

本校では、昨年4月から「深い学びの実現をめざした授業づくり」を研究テーマに、「課題設定」「対話活動」「振り返り」を3本柱とする仁尾中授業デザインを確立し、生徒の好奇心が探究心や自信に変わる学びを実践してきました。2学期からは、授業におけるタブレット活用率の改善を含めて、生徒が自己の特性や学習進度等に応じ、自らの学びが最適となるように学習の課題や内容、教材や方法等を選んで決めたりしながら学んでいく「個別最適な学び」について研究を進めます。

豊かな心

能登半島に、久しぶりにメッセージ入り土のう袋を作成しました。1学期末に8名が作成したものを、夏休みに七尾市に届けました。七尾と珠洲はボランティアセンター、輪島はボランティアセンターと同じ敷地内のスーパーに、本校からの土のう袋を飾ってくれています。特に珠洲は1年以上、飾ってくれており、能登の現状を紹介する動画のなかにも出てきたり、今はマッチングの際に真正面に見ることができたりします。

